

2023

6

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定推進室

# 資格検定ニュース

2023年6月 | 第09号

資格検定推進室の仕事

## 危険物取扱者試験及び消防設備士 受験のサポート

危険物取扱者試験は、本校生徒が受験する国家資格試験で最も受験者数の多い試験です。全科の生徒、全学年が受験しています。

また、消防設備士試験は電気工事士免状を取得した、電気科生徒が主に受験しています。

いずれの試験も乙種と甲種があり、まずは乙種からチャレンジする 경우가ほとんどです。受験料を収めて受験し、合格した場合には免状申請料が更に必要な、2段階の仕組みになっています。合格しただけで、免状の取得をしなければ実務に就くことはできません。

受験申請はWEB申請も可能ですが、本校の現状は、ほぼ紙ベースの従来型申請です。これば例えば乙種第4類危険物取扱者試験に合格・免状取得し、次の乙種の別類試験で科目免除を受けたり、複数種の受験を行う場合には、証明書の添付が紙媒体で行うほうが簡単であることが大きな理由であると考えられます。

しかし、まず最初に危険物乙種第4類を受験する場合には、WEB申請で簡単です。（プリンター出力ができること。コンビニ決済かクレジットカード決済ができることなどが求められます。ただし自宅にプリンターがない場合にはコンビニでプリンター出力することもできます。）

資格検定推進室も、最初の受験であれば、WEB申請をお勧めします。受験者本人が入力することで、間違い防止やミス発生時対応が迅速に可能です。既に別記事で述べたように、ICT活用能力は今後の必須スキルです。

危険物乙4免状取得後の複数受験は岡山県と香川県が複数2種まで、大阪府が複数3種まで、広島県は複数4種まで可能です。

受験申請はどの県に対しても可能であり、出願要領も同じです。ただ、出願先の各県消防試験研究センター宛ての出願となるため、岡山県宛に書いた願書を転用する場合は岡山県を二重線で消し、新たに受験する県名を正しく書くなどの措置が必要です。

また、試験合格着に直ちに免状申請を行わなかった場合には、免状の取得まで1か月以上日数がかかり、タイミングよく受験していくことは難しくなります。

「検定受験は自分自身で管理する。」という主体性が求められ、自分で調べ、自分で行動することが大切です。

資格検定推進室は、そのような主体性を持った生徒の皆さんの受験のサポートを行います。